

FUJI OIL GROUP 2013

第85期 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

Global & Quality

二つとない、をつくる。

不二製油

証券コード：2607

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第85期中間期における事業環境は、国内はデフレ・円高基調の長期化・貿易収支の悪化・雇用環境の低迷等厳しい経済情勢が、海外は欧州の金融・財政不安の長期化や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化が見られ、国内外で不透明な経済情勢が続きました。当社グループを取り巻く食品業界でも、消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画「Global&Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を基本方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1,115億93百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は56億25百万円（前年同期比6.5%減）、経常利益は54億33百万円（前年同期比7.9%減）、四半期純利益は32億24百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

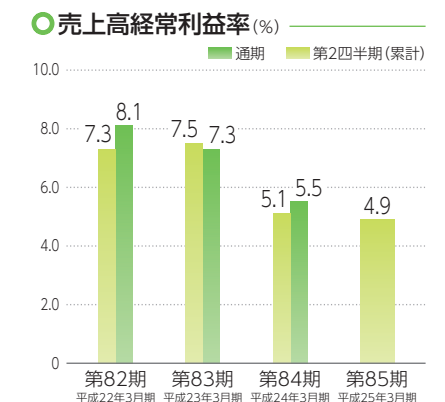
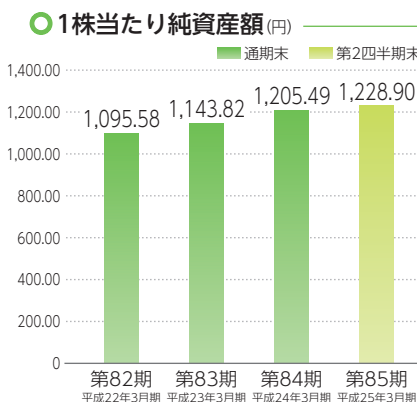
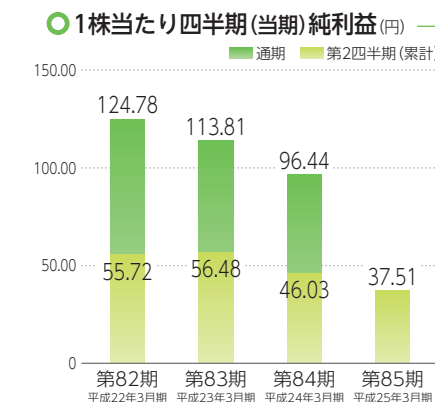
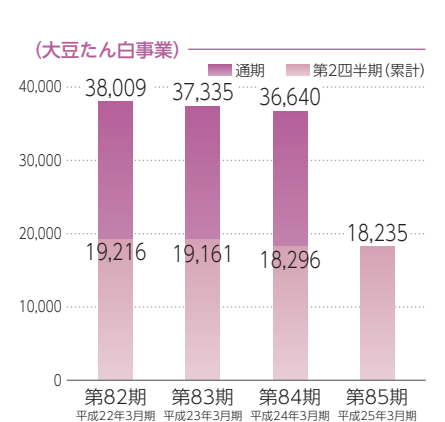
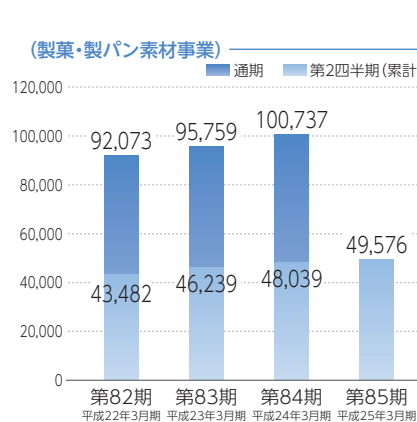
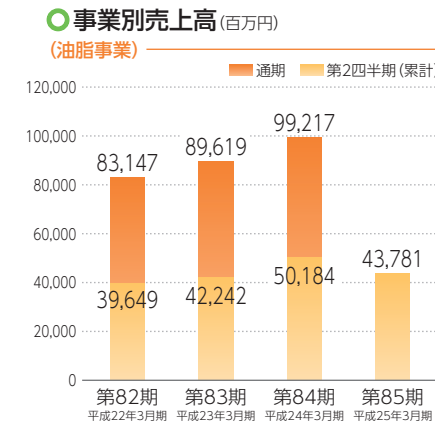
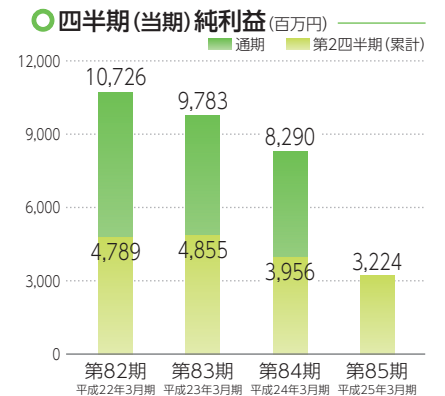
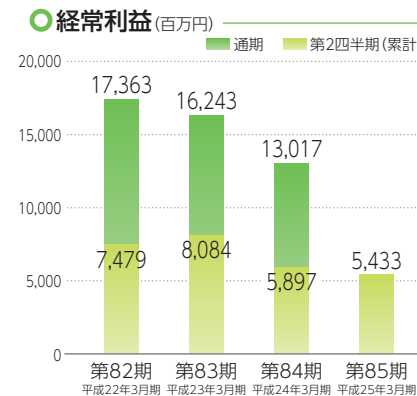
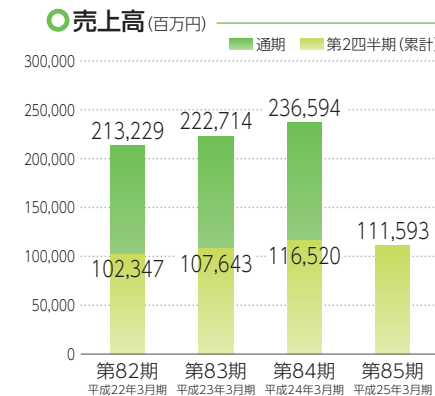


代表取締役社長 海老原 善隆

引き続き、厳しい事業環境が予想されますが、中期経営計画達成に向けて具体的な施策を着実につ迅速に進めていく所存であります。

なお、当中間期の配当につきましては、1株につき12円とさせていただきます。中間配当を含めた年間配当は1株につき24円とさせていただく予定です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。



特集 1 新製品紹介

二つの基軸となる事業に幅広い製品を創造しております。油脂加工食品と大豆たん白加工食品の新製品ラインアップの中から代表的な製品をピックアップしてご紹介いたします。

油脂加工食品

カマンベールソース

**カマンベールチーズの風味と
トロツとした食感を再現。**

厳選した乳原料を使用し、乳酸発酵によりカマンベール特有の白かび感、乳味を際立たせるとともに、熟成の進んだカマンベールチーズ内側のトロツとした食感を再現したソースです。適度なボディ感を付与していますので、さまざまな用途でご使用いただけます。
サンドイッチ用トッピング・フィリング材をはじめ、ジャムやフルーツと合せたデザート用に、サラダやハンバーグなどの各種惣菜にと、幅広い料理に利用できます。

製品規格

名 称	乳等を主要原料とする食料
成 分	乳脂固形分9.0%、乳脂肪分3.0%、植物性脂肪分22.5%
商 品 形 態	500gピロー×12／ダンボールケース
賞 味 期 限	120日



カマンベールソース



カマンベールソースを使ったブルスケッタ

大豆たん白加工食品

まめプラスM（ミンチ）

**ひき肉のようなミンチタイプで、
ヘルシーな大豆たん白素材。**

高たん白・低脂肪で、ヘルシーな大豆たん白素材。ひき肉のような食感のミンチタイプです。乾燥品なので、水またはお湯で戻してから使用。ひき肉の替わりとして、そばろあんかけやミートソース、麻婆豆腐など、和洋中の多彩な料理にお使いいただけます。
約3倍の水を吸収するため、戻した後の重量は4倍以上になります。また、水の代わりに調味液で戻すと、下味が付いてさらにおいしく調理できるのも魅力です。

製品規格

名 称	粒状大豆たん白
原 材 料 名	脱脂大豆、食用植物油脂
商 品 形 態	6kg（1kg×6袋入り）
賞 味 期 限	365日



まめプラスM



まめプラスMを素材としたミートソース

※上記製品はいずれも業務用となっております。

特集 2 大豆ルネサンスへの挑戦

新たな中長期事業戦略「大豆ルネサンス」を掲げ、人と地球に貢献。 特許取得の「USS製法」で、新素材「低脂肪豆乳」・「豆乳クリーム」を開発。

2012年10月2日、当社は大豆事業の中長期事業戦略「大豆ルネサンス」及び新技術「USS製法」について発表会を開催しました。地球環境がさまざまな危機に直面する中、大豆にはこれまで以上に注目が集まっています。当社は、健康と環境に良い大豆のさらなる浸透のため、『大豆ルネサンス』というビジョンを掲げました。もういちど大豆の原点に戻り、これまでになく大豆の新しい価値の創造を通し、人と地球に貢献していきます。
また、この度、特許を取得した『USS（Ultra Soy Separation）製法』は、大豆本来のおいしさを追求した独自の分離分画技術。この技術により、大豆から低脂肪豆乳と豆乳クリームという新たな素材を作り出すことに世界で初めて成功しました。2013年春の商品化を目指し、事業を推進しております。



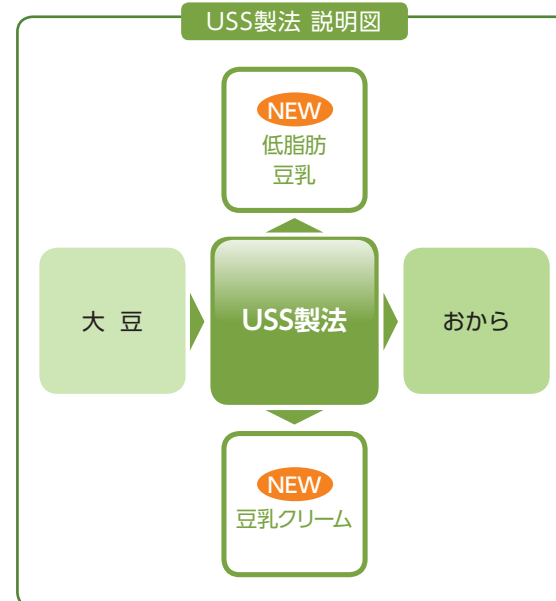
発表会で挨拶する海老原社長 発表会で説明する清水専務



豆乳クリームを使った 抹茶ロールケーキ

USS製法により作った豆乳クリームを使用したレシピの一つとして、抹茶ロールケーキがあります。豆乳クリームを使用すると、抹茶本来の味がさらに引き立ちます。

USS製法 説明図



平成25年3月期連結「**上期業績**」と「**通期見通し**」

連結決算 上期業績

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気動向・企業収益はゆるやかな回復の兆しが見られましたが、デフレ・円高基調の長期化・貿易収支の悪化・雇用環境の低迷等厳しい経済情勢が続きました。また海外では、欧州の金融・財政不安の長期化や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化が見られ、国内外で不透明な経済情勢が続きました。

当社グループを取り巻く食品業界でも、消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは新中期経営計画「Global&Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を基本方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高性能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

油脂事業

- 国内では、ヤシ油・パーム油等の主要原料相場下落による販売価格低下により、部門全体の売上高は減収となりました。ヤシ油・パーム油・調合油は採算維持に努めましたが、チョコレート用油脂は、ココアバター相場下落の影響を受け採算が悪化して、減収・減益となりました。
- 海外では、チョコレート用油脂は、欧米・中国での販売数量減に加えて、国内同様に採算が悪化して、減収・減益となりました。

製菓・製パン
素材事業

- 国内では、業務用チョコレートは、スイートチョコ・カラーチョコの販売が増加しましたが、アイスコーティングチョコが減少して、減収となりました。クリームは、オーム乳業株式会社の株式取得による連結子会社化で増収となり、マーガリン・フィリングはパン用の販売が増加して、増収となりました。粉乳調製品・ココア調製品の販売が減少しましたが、部門全体では、増収・増益となりました。
- 海外では、業務用チョコレート・クリーム・マーガリン・ショートニングの東南アジア・中国での販売が好調に推移して、増収・増益となりました。

- 大豆たん白
事業

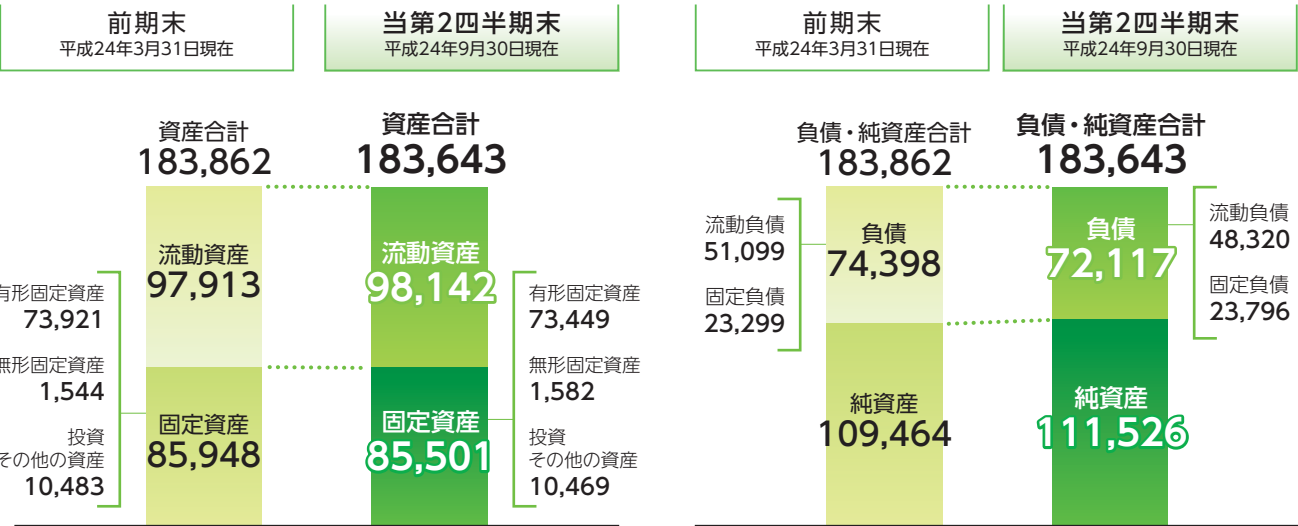
- 大豆たん白素材は、水産市場向けが増加しましたが、健康食品・冷食・惣菜・発酵培地用途が減少して、減収となりました。
 - 大豆たん白機能剤は、輸出・米飯用途が減少しましたが、発酵培地用途が増加して、増収となりました。
 - 大豆たん白食品は、即席麺用途が減少しましたが、弁当給食市場向け及び海外が増加して、増収となりました。

	平成25年3月期 上期 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)			平成25年3月期 通期 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)		
	平成25年3月期 上期業績	ご参考		平成25年3月期 通期見通し	ご参考	
		対前年同期 平成23年4月 1日～ 平成23年9月30日	対前年同期 増減率		対前期 平成23年4月 1日～ 平成24年3月31日	対前期増減率
売 上 高	1,115	△ 49	△ 4.2%	2,485	+ 119	+ 5.0%
営 業 利 益	56	△ 4	△ 6.5%	155	+ 25	+ 19.4%
経 常 利 益	54	△ 5	△ 7.9%	150	+ 20	+ 15.2%
純 利 益	32	△ 7	△ 18.5%	93	+ 10	+ 12.2%

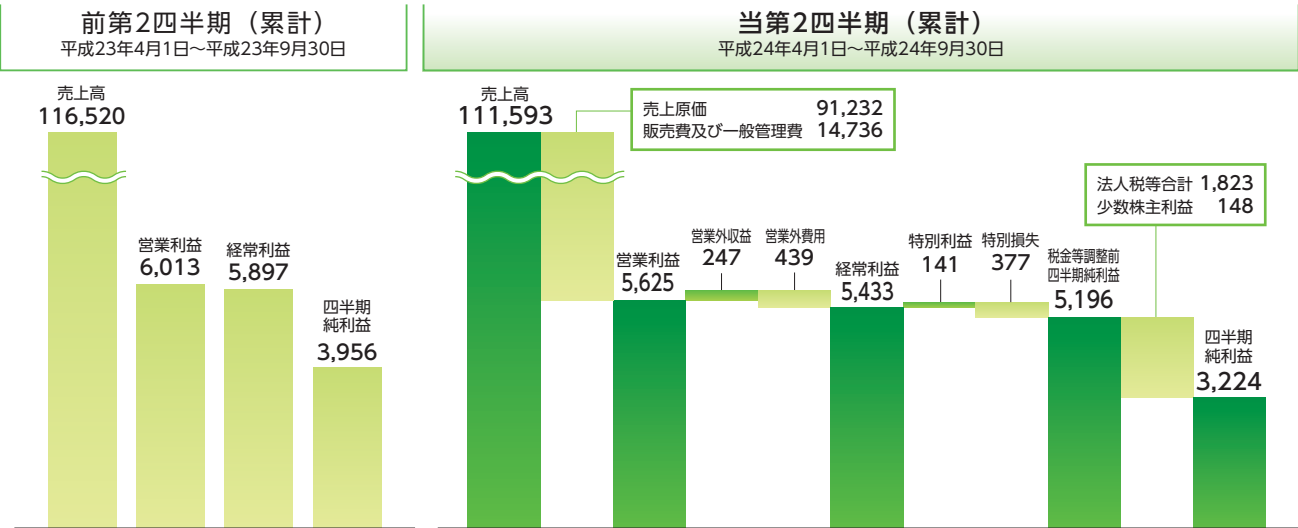
(注) 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

将来見通しに関する注意事項
上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

四半期連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



四半期連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



トピックス

中国・フジサニープラザ広州で新製品展示会を実施

当社グループの不二製油（張家港）有限公司（中華人民共和国江蘇省張家港市／総経理：陳 銘豊）は、2012年5月18日～19日に広州分公司の「フジサニープラザ広州」にて初の新製品展示会を行いました。華南エリア（福建・湖南・江西・広東・広西）を中心に300名近くのお客様にご来場いただき、



展示会場の様子

大変盛況でした。

会場では、不二製油（張家港）有限公司が扱うクリームやマーガリン、チョコレート、また新たに「ティラミス素材」製品を使った、洋菓子・パン・月餅等の幅広いジャンルのアプリケーションソフトを展示するとともに、試食品を通してご来場のお客様に新製品の特長等をアピールしました。今後は、フジサニープラザ広州を基点に、販売ときめ細かな市場フォローを行い、中国国内のお客様に貢献してまいります。



展示会場の正面玄関

ウッドランド サニーフーズ社「Silver Award」を受賞

当社グループのウッドランド サニーフーズ社（シンガポール／社長：金森泰助）は、この度シンガポール農食品・獣医局（AVA※）より、食品会社の評価制度で10年連続Grade Aを獲得した会社に贈られる「Silver Award」を受賞しました。Grade Aは、AVAが年に一度監査を行い、ISO、HACCPに基づいた食品の衛生・安全管理が徹底されている会社に対し認定するもので、食品だけでなく、製造施設も監査の対象になります。



授賞式

今回の受賞は、ウッドランド サニーフーズ社がOHSAS、ISOなどの認証取得にも積極的に取り組み、安全・品質管理体制を強化、維持している点が高く評価されました。今後も、アジアのお客様に安全で安心な製品を提供してまいります。

※AVA：Agri-Food & Veterinary Authority of Singapore



Silver Award証明書

「大豆のはたらき」をテーマに講演会を開催



講演会会場の様子

たん白質に関する研究や関連する研究の奨励、援助を行っている公益財団法人不二たん白質研究振興財団では、2012年10月4日、大阪国際会議場 12階特別会議場にて、「大豆のはたらきin大阪－文化・資源・健康から見た役割－」をテーマに、以下の題目について当財団主催の公開講演会を開催しました。

1. 大豆の加工と日本人の知恵 <東京農業大学 名誉教授 小泉武夫氏>
2. 世界の食料問題と大豆の役割 <(独)国際農林水産業研究センター 理事長 岩永勝氏>
3. 日本人の健康と肥満 <大阪大学大学院医学系研究科 教授 下村伊一郎氏>

CSR活動

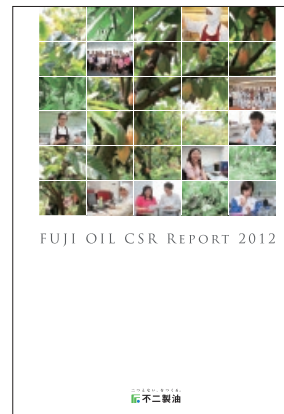
「不二製油CSRレポート2012」について

昨年に引き続き本年も「不二製油CSRレポート2012」を発行しました。当社では、当社の企業理念“「食」の創造を通して、健康で豊かな生活に貢献します。”を具現化し、本業を通して社会の課題解決に貢献することがCSR（企業の社会的責任）であると考えています。持続的な成長に取り組む食品素材メーカーとして、社会や環境と調和した事業活動を行っています。本レポートで、当社のCSRに関する考え方、取り組みを、顧客、取引先、株主、投資家、従業員、地域社会といったステークホルダーの皆様にご報告しております。

不二製油CSRレポート2012年版では、2011-2013年中期経営計画の基本方針である「グローバル経営」「技術経営」「サステナブル経営」における取り組みについて、特集記事で紹介しています。また、CSR活動計画に対する取り組み状況の可視化を目指し、CSR課題に対する活動実績を中心に掲載しています。また、各分掌役員がコミットメントすることで、目指す姿を明確に示しています。本レポートは、当社ホームページの以下のURLからダウンロードできます。日本語版に加え、英語版、中国語版も作成しております。

不二製油CSRレポート2012年版ダウンロードサイト

➡ <http://www.fujioil.co.jp/fujioil/approach/approach004.html>



不二製油CSRレポート2012

CSR調達について

数あるCSRに関する活動のうち、今回は、CSR調達についてご紹介いたします。

不二製油は公平で公正な取引のもと、社会的責任をサプライチェーンを通して遂行するため「購買基本方針」を策定しています。中期経営計画2011-2013では、CSR調達の推進を掲げ、安定調達と地球環境に配慮した調達物流の推進を行っています。

購買基本方針 (CSR調達)

1. 公平、公正、遵法・倫理性

法令、社会規範を遵守しISO9001の原料部購買基準及び資材部購買基準に基づいて、巾広くお取引先から公平・公正な取引の下、良い品質の原材料を適正な価格で安定的に調達いたします。

2. パートナースhip

上記目標を達成するために、お取引先と共同の創造的活動により連携を深め共存・共栄を果たしていきます。

3. 社会的責任

持続的発展可能な社会の実現への貢献を目指すために地球環境や労働、人権などに配慮した調達を行います。

株式情報

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数 357,324,000 株
株主数 16,893 名
発行済株式の総数 87,569,383 株
一人当たり平均所有株式数 5,184 株

大株主 (平成24年9月30日現在)

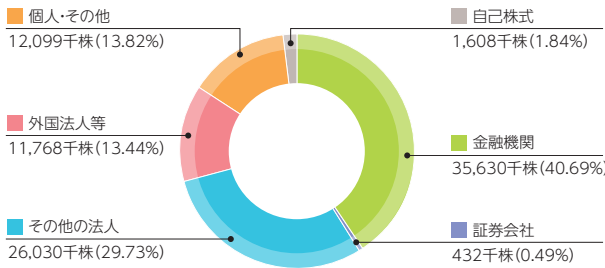
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	17,831	20.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,979	5.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,959	5.77
野村信託銀行株式会社(信託口)	3,127	3.64
東京海上日動火災保険株式会社	2,828	3.29
全国共済農業協同組合連合会	2,185	2.54
日本生命保険相互会社	2,000	2.33
株式会社三井住友銀行	1,875	2.18
農林中央金庫	1,825	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託退給口)	1,739	2.02

持株比率は自己株式(1,608千株)を控除して計算しております。

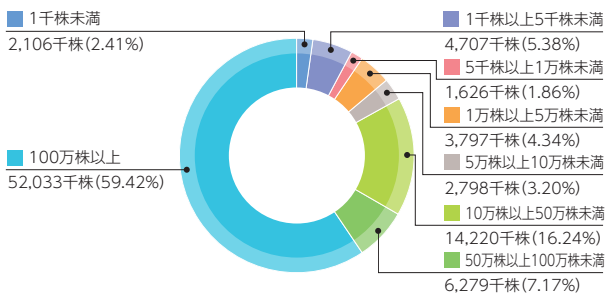
株価の推移



所有者別株式分布状況 (平成24年9月30日現在)



所有株数別株式分布状況 (平成24年9月30日現在)



会社情報

会社概要 (平成24年9月30日現在)

創立 1950年(昭和25年) 10月
資本金 13,208百万円
代表者名 代表取締役社長 海老原 善隆
全グループ従業員数 4,045名
不二製油従業員数 1,169名

役員 (平成24年9月30日現在)

代表取締役社長	海老原 善隆
専務取締役	山中 敏正
専務取締役	中村 修
専務取締役	岡本 和三
専務取締役	清水 洋史
常務取締役	高木 茂
常務取締役	寺西 進
常務取締役	前田 裕一
常務取締役	内山 哲也
常務取締役	西村 一郎
常務取締役	久野 貢
取締役	小林 誠
取締役	吉田 友行
取締役	中山 勇
常勤監査役	枅井 俊一
常勤監査役	岩朝 央
監査役	松本 稔
監査役	江名 昌彦

連結上期業績概要 (平成24年9月30日現在)

連結売上高 111,593 百万円
連結経常利益 5,433 百万円
連結総資産 183,643 百万円

主要海外グループ会社 (平成24年9月30日現在)

フジオイル(シンガポール)	ウッドランド サニーフーズ
フジオイル アジア	パルマジュ エディブル オイル
フジベジタブル オイル	ソヤファーム USA
フジオイル ヨーロッパ	ニューレイト エディブル オイル
フレイアバディ インドタマ	フジオイル(タイランド)
ムシム マス-フジ	フジオイル サウス アメリカ
不二製油(張家港)有限公司	吉林不二蛋白有限公司
山東龍藤不二食品有限公司	上海旭洋綠色食品有限公司
深圳旭洋綠色食品有限公司	天津不二蛋白有限公司
不二富吉(北京)科技有限公司	

主要国内グループ会社 (平成24年9月30日現在)

トーラク 株式会社	フジフレッシュフーズ 株式会社
株式会社 フジサニーフーズ	株式会社 フジサニーフーズ九州
株式会社 エフアンドエフ	株式会社 阪南タンクターミナル
千葉ベグオイルタンクターミナル 株式会社	
オーム乳業 株式会社	

株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京・大阪
証券コード	2607

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2607

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で当選(図書カード500円)
を差し送らせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主
リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細
<http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させ
ていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

株式に関する手続きについて

■ 証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更等
留意事項	未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社証券代行部が承ります。

■ 特別口座に記録されている株主様

お手続き お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈郵便物送付先〉	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
〈電話照会先〉	0120-176-417 (平日9:00~17:00)
〈ホームページ〉	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。】

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031

お手続き内容

特別口座から一般口座への振替請求、住所・氏名等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、未払配当金のお支払、郵送物の発送と返戻に関するご照会等

特別口座での
留意事項

特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

[特別口座について]

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は三井住友信託銀行株式会社に開設された口座(特別口座)に記録されております。
特別口座の詳細につきましては、上記三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。

二つとない、をつくる。

不二製油
<http://www.fujioil.co.jp>

UD FONT

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022337